

現場に立って、確かめる。 それが、街の未来を動かす第一歩。



土木 技査補

経歴

- ・令和3年4月～
下水道整備課 第三建設係

Q.あなたの仕事を教えてください。

私のメイン業務は、下水道整備計画に基づいて、まだ下水道が整備されていないエリアに新たな管路や施設をつくる仕事です。

CADを使った図面作成や設計書の作成といった「デスクワーク」から、工事が安全・確実に進んでいるかを確認する「現場管理」まで、幅広く担当しています。

単に図面を引くだけでなく、普段から施工業者さんとこまめに連絡を取り合い、自ら何度も現場に足を運ぶことを大切にしています。

現地の地形や周辺環境を直接この目で確かめながら、「どうすれば地域のみなさんにとってより使いやすく、安全なインフラになるか」を追求して形にしていける、非常にやりがいのある仕事です。

Q.市役所を選んだ一番の理由は何ですか？

もともとは民間企業で土木の仕事に携わっていました。

民間では「利益の追求」が重視されますが、業務を重ねる中で「もっと直接的に、自分が育った地域の暮らしや基盤を支えたい」という思いが強くなりました。

市役所の技術職へ転職してからは、個人の利益ではなく「公共の福祉（街みんなの幸せ）」のために力を注ぐようになり、仕事に対する手応えや達成感が大きく変化しました。

自分が計画し施工管理に関わった下水道が完成し、地域のみなさんの生活が便利になっていく姿を間近で見られることは、行政の技術職だからこそ味わえる最高の魅力です。

Q.技術者として面白い瞬間は？

職場の同僚や施工業者さんと切磋琢磨しながら、同じ目標に向かって困難を乗り越えていくプロセスに一番の面白さを感じます。

下水道工事は道路の掘削などを伴うため、一時的に通行止めや騒音などで地域の方々へご協力をお願いしなければなりません。

工事の必要性や安全対策を丁寧かつ分かりやすく説明し、住民の方々から励ましや感謝の声をいただけたときは、チームみんなで苦労が報われる瞬間であり、技術者として大きな達成感を味わえます。

Q.あなたの部署はどんな雰囲気ですか？

仕事中は全員が集中して業務に取り組めますが、休憩時間や終業後には和やかな会話が飛び交う、とてもメリハリのあるアットホームな雰囲気です。

業務で悩んだ際も上司や先輩に気軽に相談しやすく、チーム全体でフォローし合える風通しの良さがあります。

Q.休日の過ごし方や趣味は？

有給休暇が非常に取りやすく、時間単位での取得も可能なため、個人の予定に合わせて柔軟にスケジュールを調整できます。

私自身、今年育児休業を取得しましたが、周囲の先輩方から背中を押していただきました。

業務のフォロー体制がしっかり整っているため安心して育休に入ることができ、子どもとの貴重な時間をたっぷり過ごすことができました。

プライベートや家庭をととても大切にできる職場です。

ある1日のスケジュール

08:30 朝礼・メール確認

メールや依頼事項をチェックし、1日のスケジュールを整理。

09:00 設計書作成

CADで図面作成や積算システムを使い、工事に必要な設計書を作成。

11:00 打合せ

委託業者や道路・公園などの庁内関係部署と、工事計画の調整を実施。

12:00 昼休憩

持参したお弁当などで昼食をとった後は、庁舎周辺の散歩が日課です。

桜や紅葉など四季の移ろいを感じられ、良いリフレッシュになっています。

13:00 現地立会・調査

施工現場で品質・安全を確認し、新現場の事前調査を行う。

14:30 地元説明

工事エリアの住民のみなさんへ、分かりやすく概要や安全対策をご説明。

16:00 資料作成

現場での確認結果を設計書に反映し、上司報告や掲示資料を作成。

17:15 退庁

翌日の業務予定を確認し、緊急案件がないことを確認してから退庁。

未来の後輩へのメッセージ

図面やパソコン画面の書類だけでは見えてこないことが、実際の現場にはたくさん隠れています。

現地に直接赴き、道路の状況、地域の方々の暮らしをこの目で確かめることで、初めて「真に使いやすい設計」のアイデアが生まれます。

最初から専門知識がなくても大丈夫です。

頼れる先輩たちが現場でしっかりサポートします。